

東京開催

遺児等支援拡充のための支援者養成研修

① LECTURE 講演会

定員
100名

参加費
無料

要申込

学校コミュニティに関わる死に、周りの大人はどう対応するか

2017年 **12月13日** (水) 18時30分～20時30分

会場：飯田橋レインボービル会議室

子どもが経験する死は子ども自身の死、子どもの家族の死、子どもと関わる教師や学校のスタッフの死、友人や知人の死等様々な死があり、それらに対してのサポート方法も一つではないため、丁寧に関わらねばなりません。様々な困難な状況にある子どもたちを長年支えてこられたドナ・シャーマンさんの講演では、児童生徒と日々接している大人たち～学校関係者や遺児支援に関わる関係者、保護者や地域住民などが、子どもたちのSOSを受け止め、サポートにつながる一步を学びたいと思います。

② WORKSHOP ワークショップ

定員
50名

参加費
無料

要申込

大切な人を亡くした子どもたちを支えるために

2017年 **12月14日** (木) 10時～16時

会場：飯田橋レインボービル中会議室

講義とグループワークで、大切な人を亡くした子どもたちとその保護者が安全な環境のうちにそれぞれの悲しみに向き合い、感情などを表現できる場の運営や支援等に必要な知識や技術の習得をめざしましょう。

①、②とも

講師：ドナ・シャーマン（ダギー・センター 前所長）

通訳：中澤えりか

対象：学校関係者、遺族・遺児等支援に関わる機関とその関係者、保護者や地域住民

Donna Schuurman, Ed.D, F.T.



ダギー・センターとは

「いのちってなに？ 死ってなに？」 不治の病の床にあった9歳の少年ダギー・ターノの問いかけに応じてエリザベス・キューブラー・ロスが『ダギーへの手紙（アガ・叔父訳 佼成出版社）』を書きました。そのやりとりによって深く心を動かされた看護師のベバリー・チャップルによってダギー・センターは1982年にオレゴン州ポートランドに設立されました。

ダギー・センターは、大切な人を亡くした子どもたちとその家族が、それぞれのペースで悲しみに向き合い、癒されるように、ピアサポート・モデルを開発し、現在米国内だけでなく世界各地で500以上の機関がこのプログラムに基づいた活動をしています。

ドナ・シャーマンさんは、1986年からダギー・センターの活動に加わり、1991年より2016年までCEOとしてセンター全体の運営に関わる一方で、世界各地で積極的に研修を行ってきました。現在はAdvocacy&Training（政策と研修部門）の責任者として研修を行っています。

NPO法人グリーフサポートリンク（全国自死遺族総合支援センター <http://www.izoku-center.or.jp/>）は、ダギー・センターの研修を経て2013年より毎月「大切な人を亡くした子どもとその家族（保護者）のつどい」を開いています。※このつどいのスタッフを希望される方は、今回のワークショップと2018年1月7日開催予定の研修を受けてください。

参加申込書

参加希望日を丸でかこんでください。	【講演会】	2017年12月13日（水） ※東京開催
	【ワークショップ】	2017年12月14日（木） ※東京開催
お名前	ふりがな	
連絡先	電話番号（連絡のとりやすいもの）	
	メールアドレス	

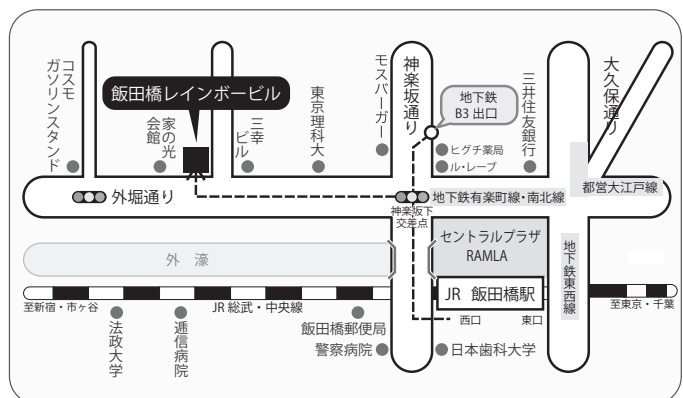
問い合わせ・申込み

NPO 法人グリーフサポートリンク
（全国自死遺族総合支援センター）

メールアドレス：
office@izoku-center.or.jp
FAX：03-3261-4930

▽会場アクセス

JR 飯田橋駅西口徒歩5分
地下鉄有楽町線・東西線・南北線 飯田橋駅 B3 出口徒歩5分



京 都 開 催

ワークショップ「大切な人を亡くした子どもたちを支えるために」

2017年12月9日（土） 10時～16時 会場：ハートピア京都第5会議室

講演会「学校コミュニティに関わる死に、周りの大人はどう対応するか」

2017年12月10日（日）14時～16時 会場：メルパルク京都

